

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102195
法人名	特定非営利法人 グループホームしいのみ
事業所名	グループホームしいのみ
所在地	愛媛県松山市緑町1丁目7-15
自己評価作成日	平成21年7月15日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年10月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「ゴソゴソの自由」の理念に基づいて、常に利用者さんが自由に過ごせるような空間がある。また民家改築のため、家庭的な雰囲気がありいつも利用者さんが居心地のいい場所であるような環境作りをしている。そして常に利用者さん本位に立てるような生活を行っており、利用者さんの持っている能力を引きだれるような援助を行っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

運動会や文化祭等の地区の公民館行事、神社の清掃には、利用者と共に参加し、地域の方々と楽しく交流されており、職員は、運動会の準備も手伝われている。秋祭りの際は、利用者が御輿を担ぐ子供たちにジュースやおもちゃを配ったり、御輿の鉢合わせを見物に行かれる方もいる。利用者は近くの美容院を利用しており、時には来訪してカットして下さる。利用者が外に出かけ迷った時には、ご近所の方が連れて来てくださったこともある。夏休み等には、地域の大学生のボランティアを受け入れておられる。管理者は、近隣の幼稚園との交流も再開していきたいと話しておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目		取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらい 3. 家族の1/3くらい 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。

関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームしいのみ

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

玉井 教行

評価完了日

平成21年7月15日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 開設当時の「ゴソゴソの自由」を理念とし地域の方たちにもホームの理解を浸透すべく、管理者、職員共にケアの実践に努めている。	
			(外部評価) 「ゴソゴソの自由」の理念のもと、「地域社会との自然なつながり」や「普通のお付き合い」を大切に、「地域の中にとけ込める」事業所を目指しておられる。今年度の目標として、「老いても障害があっても普通に生活する。当たり前な事。私たちはさりげなく寄り添っていききたい」を掲げ、管理者、職員が一丸となって取り組んでおられる。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 職員から率先してあいさつを行い、親しみやすいホームを目指し行事等は参加しながら利用者との交流を図っている。(運営推進会議、運動会、お祭り、清掃など)	
			(外部評価) 運動会や文化祭等の地区の公民館行事、神社の清掃には、利用者と共に参加し、地域の方々と楽しく交流されており、職員は、運動会の準備も手伝われている。秋祭りの際は、利用者が御輿を担ぐ子供たちにジュースやおもちゃを配ったり、御輿の鉢合わせを見物に行かれる方もいる。利用者は近くの美容院を利用しており、時には来訪してカットして下さる。利用者が外に出かけ迷った時には、ご近所の方が連れて来てくださったこともある。夏休み等には、地域の大学生のボランティアを受け入れておられる。管理者は、近隣の幼稚園との交流も再開していきたいと話しておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 不定期ではあるが地区の公民館を借り地域の方を招いて健康体操や認知症の勉強会などを開いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	(自己評価)	
			<p>近隣の方や利用者の家族にも出席を依頼し、ホーム での生活の様子を伝えたり外部からの意見を参考にし サービスの向上に努めている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>市町村からのアドバイスや意見を参考にし、サービ スの取り組みを行っている。担当者も親切に対応して もらっている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準にお ける禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	(自己評価)	
			<p>一人一人の職員に身体拘束をしないホーム作りを理 解してんもらうべく日頃の勉強会をはじめ、何気ない 会話の中にも理念をわかりやすく説明しケアの向上に 努めている。</p>	
			(外部評価)	
			<p>日中は、玄関は施錠されておらず、利用者が自由に 出入りできるようになっている。職員は、ミーティ ング時等に、身体拘束について勉強されており、「規 制することなく、利用者がのびのびと自由に生活 できる」ようなケアに取り組まれている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 日ごろの勉強会や運営推進会議時など、虐待のテーマをもらい話し合いを行っている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) これから必要性が多くなってくるだろう制度に対し、専門家への相談や職員の知識を深め、対応できるホーム作りを目指している。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 家族や利用者の方へは十分な説明が必要である。しかし、その時々により状況が変わることがあり、常日頃からの密な連絡や報告が必要である。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者、家族の意見など、真摯に受け止め対応するように努めているが時に意見内容によっては市町村などにも相談し意見をもらいながら家族対応を行っている。 (外部評価) ご家族の来訪時等に意見を聞くようにされており、ご家族から「もっと外出させてほしい」との要望があり、さらなる外出支援に取り組まれた。毎月、利用者個々にお手紙を作成されている。日々の生活振りを撮した写真や職員の手書きのコメント、病院受診の記録等も同封して、ご家族に近況をお知らせしている。	毎月のお手紙には、「口では言いにくい事等をお書きください」と書いた用紙も同封されているが、ご意見等を寄せていただくことは、ほとんどないようである。管理者は、今後、運営推進会議の議事録も送付したいと話しておられた。今後も、ご家族から具体的なご意見や提案を出していただけるような工夫を続けていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) ミーティング、勉強会以外にも食事会などの場を設け、意見や提案をきき反映している。 (外部評価) ミーティング時に職員からいろいろな提案が出されており、「おかずの品数のこと」や「服薬管理及びチェックの方法」「外部研修の機会を増やしたい」等、アイデアや意見を話し合っ決めて、取り組んでおられる。職場を離れて職員同士で親睦を深める機会も作っておられる。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 努力しているが、代表者の力不足で職員が短期間でやめるため処遇改善が継続できない。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 外部研修(ケアプラン研究会、協議会研修など)に積極的に参加できる機会を作り、その後ホーム内でもミーティング、勉強会も開いている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他事業所が主催するケアプラン研究会、ケアワーク研究会、地域包括が菓子際する会議などで交流を持ち、意見交流会をしている。また相互研修で訪問し合っネットワーク作りをし、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 十分に本人の話を傾聴し、本人の困っていること、不安なこと、求めていることを理解できるよう努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 十分に家族と話し合い、困っていること、不安なこと、求めていることを理解できるよう努めている。家族が来られる時間持てないときには、こちらがご自宅へ出向き十分な話し合いができるよう対応している。	
17		初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 本人と家族が必要としている支援を見極め他のサービスの利用を含めた助言、相談を行い対応に努めている。	
18		本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 介護される側、する側という観点はなるべく持たず、一緒に過ごしながら時間を共有し合い、支え合う関係作りに努めている。	
19		本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 常に家族と連絡を取り合い、小さなことでも報告し一緒に本人を支えている関係を気付いている。	
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の記憶に残っているものや現存している者に関しては可能な限り関係が途切れないよう支援している。(昔の知人等の訪問)	
			(外部評価) ご本人の希望があり、ご家族の協力をいただき、月に1度、ご家族と外出されたり、半年に1回はご自宅に泊る方がある。ドライブの際に、利用者の故郷を訪れ、ご本人が学んだ懐かしい小学校にも立ち寄り、記念写真を撮られた。又、かつての職場の同僚が訪ねて来てくださることもある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者間の関係は基本的に個々のペースに任せているが孤立したり、トラブルが生じたりした場合には職員が間に立って支え合うようにしている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	長期入院で退去された方には不定期ではあるがお見舞いに行ったり、寄せ書きの色紙を送ったり、契約が終了した方にも手紙や季節の挨拶状などで利用者や家族系の関係を断ち切らない付き合いを大切にしている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	利用者一人一人の生活歴を把握し本人と話したり、相談しながらなるべく本人の理想に沿うような生活ができるよう対応をしている。困難な場合には本人、もしくは家族本位に検討している。
			(外部評価)	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	一人ひとりの生活歴などケアプランファイルに挟んで誰でも見やすい所に置いている。いつでも開けてみることができ職員も把握している。日常の会話の中にもケアのヒントになることがないか記録をとったりしてチェックしている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	日々状態などなるべく細かく日誌に記録し朝、タスク間で話し合い一人ひとりの精神・身体状況、行動を把握できるようにしている。何か変化があれば早急に話し合い対応している。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 介護計画作成には一番望んでいることは何か本人と相談し作成している。また家族会を行い、情報や意見交換を行い記録として残し、必要な関係者などの意見やアイデアを反映しつつ現状に合った介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) ご本人に、今、「一番困っていること」等を聞き、来訪時にご家族の意向もうかがいながら、すべての職員で話し合い、介護計画を作成されている。介護計画は、1ヶ月ごとにモニタリングを行い、3ヶ月ごとに見直すようになっている。</p>	<p>ご本人の暮らしとケアについて、ご家族とも相談しながら計画を立てていけるよう、事業所側からご家族に働きかけを工夫して取り組みをすすめていかれてほしい。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 日々の状態をなるべく細かく日誌に記入し血压、排便などパソコンにも残している。記録は毎日スタッフがチェックし何か変化があれば分かりやすいよう記録に残し、ミーティングを開いたり話し合ったりして計画見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 本人・家族意からの要望がある場合、外出や外泊の対応ができ送迎や車いすの貸し出しも行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 運営推進委員会を通じ、民生委員の方と連絡を取り合ったり、回覧板を通して情報を得たり意見交換を行ったりしている。また警察や消防の方も招いて運営推進委員会を開いたり、利用者を交えて避難訓練を行ったりして支援している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)	
			入居時に本人および家族の希望を聞き希望するかか りつけ医がある場合は対応することができる。また、 ほぼ毎日主治医が往診に来てくださり、何かあればい つでも相談ができる体制をとり支援している。	
			(外部評価)	
			現在は、協力医が利用者全員のかかりつけ医となっ ており、毎日、往診に来ていただいている。通院時は、 ご家族のご都合によっては、職員が同行し支援され ることもあり、ご家族にはその都度、電話等で報告され ている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)	
			何かあればいつでも連絡、相談し支援できる関係作 りに努めている。	
			(外部評価)	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)	
			主治医からの紹介状を書いてもらい、入院した病院 にも利用者の状態が分かるように連携をとっている。 入院病院とホームとの情報交換や相談ができるよう努 めている。	
			(外部評価)	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価)	
			重度化、終末期については出来るだけ早い段階から 今後の意向について家族とも十分に話し合いを行い主 治医からのアドバイスをしてもらうように対応してい る。家族、主治医、管理者で話し合った意向を管理者 からホーム職員に伝え、方針を共有している。	
			(外部評価)	
			事業所の「看取りに関する指針」を提示し、ご家族に 説明されている。最期を事業所で迎えたいと希望され るご家族もある。ご本人の状態変化時には、頻繁に ミーティングを開き、話し合い対応されている。これ ままでに、3名の利用者を看取られており、ご家族とと もに看取られたり、耳の不自由な利用者のために、地 域の手話サークルの方の協力を得たこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) マニュアル等は作り、口頭説明はしているもののその時になってみないとという意識があり定期的に伝えていないが勉強会を開く予定である。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年に数回消防職員を招き訓練やアドバイスを受け近隣の方の協力が得られるよう働きかけを行っている。 (外部評価) 年に2回、利用者も参加して避難訓練を実施し、夜間想定訓練も行われている。4月の運営推進会議時には、消防隊員の指導のもと、出席者も参加して防災訓練を実施された。通報訓練や避難路の確認をされたり、職員や利用者、地域の方も水消火器を使って実際に消火の体験をされた。いざという時には、事業所の両隣り、向かいの方が駆けつけてくれることになっている。	事業所独自でも、避難訓練をされているが、事業所は住宅密集地に位置し、構造上の事情もあり、今後も、さらなる安心安全のために、地震等も含めて、いろいろな災害を想定した訓練を重ねていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 利用者に対し一人一人の人格を尊重した言葉かけや対応を行っている。個人情報に関する事柄は厳重に管理し取り扱う際には十分な配慮を行っている。 (外部評価) 職員は、「利用者一人ひとりが持っている能力を引き出せるよう、さりげなく寄り添う」事を大切にされており、利用者がトイレに行かれる際にも、そっとお誘いし見守っておられた。耳の遠い利用者には、真正面から大声で話すのではなく、聞こえるほうの耳の側から低めの声で話しかけるようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者自らできることを尊重している。(例えば掃き掃除、食器洗いなど)職員は見守りや一緒に行うなど支援している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員側の都合で業務を優先してしまうこともある。しかし可能な限り利用者一人一人のペースを大切にし、希望に沿うように支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 服が汚れていたり、入浴時のときなどはその人に合った服を整えてあげている。外出や特別な行事(お誕生会、お祭りなど)にお化粧やほかの支援を行っている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食事は利用者の一番楽しみな時間なのでメニューのリクエストなどとりたりして食事は職員も一緒にテーブルで摂って、準備、片付けも声かけしてできる方と一緒にしている。お誕生日や入居される方がいらっしゃったら豪華な食事を提供したりしている。 (外部評価) 調査訪問時、台所で利用者は、職員と一緒に食材の下ごしらえや盛り付け等をされていた。昼食時は、利用者の声かけで皆さんが食堂に集まり、利用者は「おいしいね」等と談笑しながら職員も共に、和気あいあいとした食事風景であった。利用者の好みもお聞きし、薄味で野菜たっぷりの、肉と魚のバランス等を配慮した献立を心がけておられる。お誕生日にはご本人のお好きなものを手作りされたり、ご本人の希望で外食することもある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食べる量はその人の今の状態、かみ砕けにくい人にはキザミを入れたりして工夫している。水分摂取に関しては三度の食事には汁物を付けているし、テーブル席には必ずお茶の入ったやかんを置いて利用が自由に水分摂取がとれるようにしてある。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 歯磨きはできる方はご自身でしていただいて入れ歯のある方は洗浄の支援を行っている。拒否の激しい方はできないこともある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 紙パンツを使用している方には声かけをしたり訴えがある場合、トイレ誘導をしている。夜勤帯の時間は、よく休んでいただくためオムツを使用している。 (外部評価) 利用者個々の排泄パターンに合わせて、さりげない声かけやトイレ誘導を心がけておられる。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 日ごろから水分は多めに摂っていただいている。散歩なども積極的に誘って行っていただいたり、食事野菜を多く取り入れたりして工夫している。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 自立できている方には、自由に入浴して頂いている。見守りが必要な方、介助が必要な方には時間調整を行っている。 (外部評価) 週に2回は、必ず入浴できるよう支援されており、入浴しない場合は、シャワーや清拭をされている。ゆっくりと長湯も楽しめるよう支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりのその時の状況に応じてご自身がお部屋で静養されたり、声かけして誘導したり、安眠のために散歩、外出して日中は過ごしていただく。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 利用者が服用している薬の説明書のファイルはいつでも目を通せるようにし、職員は理解した上で支援と症状の変化の確認に努めている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者に声かけして興味を示したら、その人のレベルにあった楽しみ方を支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 外出支援は、散歩に行ったりドライブに行ったりして地域の方とともに運動会やお祭りなどを通して出かけられるよう支援している。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりのその日の希望に沿って、外出できるよう支援されており、散歩に出かけたり、近所の八百屋やチラシ広告を見て、近隣のスーパーや商店等に買い物に出かけておられる。時には、季節の花を楽しみに遠出されることもある。調査訪問当日は、利用者お二人が、法人代表者が運転されて、近郊の道の駅までドライブに出かけ、外食も楽しんで来られていた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) お金の管理は利用者自身難しい状況なので職員が代行している。何かほしいものがあれば職員が付き添って買い物する楽しみを味わっていただいている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話をしたり、手紙のやり取りができる方はしていただいている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>現在一般家庭改修型の施設のため、季節の花を飾ったりして一般家庭のような雰囲気作りをしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>民家改修型の事業所で、利用者の年代に馴染みのある雰囲気となっている。茶の間は皆の団欒の場となっており、日中、長時間過ごされる方も多い。ススキや小菊等、季節の花を飾ったり、利用者の秋祭りの際の写真等を貼っておられた。2階への上がり降りに、階段昇降機を利用される方もいる。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>気の合った利用者で談話室で話したり、テレビなど娯楽が楽しめたり、お互いの自室を行き来できるような環境作りをしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>利用者本人が気持ちよく過ごせるよう、なじみの物（ぬいぐるみ、タンス、写真など）を自宅より持参し置いている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には、お好きなぬいぐるみを飾られたり、壁に時計を掛けておられる方もあった。居室の掃除は、職員が利用者と一緒にやっておられる。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>常に危険な、もしくは自立した生活を送る上で必要な箇所を職員同士が話し合いお互い理解した上で利用者が安全にかつ自立した生活ができるよう改修を行っている。</p>	